

2009年11月20日

ロシア関連メモ 022

国際公共政策研究センター
主任研究員 神野

ユルゲンス:近代化の優先順位

ロシアのビジネス誌“RBC Daily”の現代発展研究所ユルゲンス所長へのインタビューの内容。

メドベージェフ政権はロシアの国家目標を「近代化」としており、技術的近代化の対象領域として①エネルギー効率改善、②核技術、③宇宙開発・テレコミュニケーション、④最先端医療機器及び医薬品開発、⑤戦略的情報技術：スーパーコンピューターの5つの分野を上げ、今年5月に設置した大統領直轄の「経済近代化及び技術発展委員会」において重点的な取り組みを開始している。

このインタビューのなかで、ユルゲンス所長はこのメドベージェフ大統領のリストアップについて「完璧には程遠い」とし、トレンドィーな先端技術領域ばかりに注目する風潮を戒め、ロシア産業の潜在能力をより迅速に発揮することができ、グローバル市場において競争力のある伝統的産業を強化すべきと主張している。そして対象産業を明らかにするために大規模な調査・分析を行う必要性についても語っている。

さらに近代化についてバランスの取れた漸進的アプローチの採用により10年以上かけてじっくりと進めていくべきという見解を述べており興味深い。

【抄訳】

昨日現代発展研究所に多くの専門家が集まりロシアの近代化についての議論を行った。近代化は最近ロシア政府でしばしば話題にされるテーマである。それは9月にメドベージェフ大統領が彼の戦略的記事『ロシアよ、進め！』で近代化を論じたことに端を発する。

それからビジネスマンから政治家まで誰もが皆が近代化の重要性について語るようになった。月曜日にはウラジスラフ・スルコフ大統領府副長官¹が近代化について語り、その前にはミハエル・ホドロコフスキー²までもが発言した。ロシア経済が最終的に近代化するのはいつのことなのか？どの産業セクターで最初にリストラクチャリングが行われ、政府は近代化のために幾ら負担するのだろうか。

これらの問題についてRBC Dailyのエレナ・ジヴローヴァ記者がイゴリ・ユルゲンス現代発展研究所所長兼ロシア産業家起業家同盟副会長に聞いた。

Q. 何から近代化を始めればいいのか？

¹ウラジスラフ・ユリエヴィッチ・スルコフ（Владислав Юрьевич Сурков）ロシア大統領府副長官。プーチンの腹心とされる。

²ミハイル・ボリソヴィッチ・ホドルコフスキー（Михаил Борисович Ходорковский）ロシアの実業家。オリガルヒ（新興財閥）の一人。石油会社ユコス元社長。2003年脱税の罪で逮捕・起訴され現在服役中。

ユルゲンス：先ず初めに近代化の戦略を立てなくてはならない。全部の経済セクターを一度に近代化することは不可能だ。近代化の第一歩は「ブレイクスルーセクター」と、その中で最も注力すべき領域を特定することだ。その後で具体的な変化のための手段や方法を考える必要がある。

メドベージェフ大統領は既にこの問題に対する考えを明らかにしており、近代化が必要な領域をエネルギー効率の改善、省エネ、核技術及び宇宙開発、医療・情報テクノロジーとしている。だが大統領の評価はあまりに楽観的すぎる。このリストは完璧には程遠い。

対応すべきセクターを特定するためにはビジネス界の人々とよく議論しなくてはならない。

Q. どのセクターを初めに近代化すべきだというのか？

ユルゲンス：我々は今よりも数十万倍の原材料を処理することができる。例えば原材料を販売するのではなく、石油やガスセクター、木材や金属産業における最終製品を生産することができる。我々は先ずグローバルマーケットで最も需要があり結果を出すことができる製品を特定しなくてはならない。

今トレンドなナノテクノロジーやバイオテクノロジーに注意を払い過ぎてはならない。実績のある伝統的産業を無視してはならない。

Q. 近代化にはどのくらいのコストがかかるか？我々はそれを負担できるか？

ユルゲンス：それ故私は優遇税制、優遇償還制度、輸入税、輸出措置その他潜在的ブレイクスルーセクターに対する伝統的な保護措置を適用すべきいくつかの産業を特定することが極めて重要だと考えている。

Q. その例は？

ユルゲンス：そのセクターはマーケットにおける競争によって決まる。我々はロシア産業家起業家同盟と商工会議所、(全ロシア公的機関) Delovaya Rossia やその他機関の協力を得て大規模な調査を行う必要があると考えている。マーケットがすぐにそのような産業を特定するだろう。もちろん国が AvtoVAZ のようにそれらに資金を注ぎ込まないとしても。

Q. 経済の近代化にはどの程度の期間がかかるのか？或いは少なくとも一部のセクターの近代化にはどれくらい時間がかかるのか？

ユルゲンス：経済危機発生以降、我々は経済の安定化のために努力してきた。この間国内に反乱は起こらず、国民はずっとこの状況に耐えてきた。このことは近代化のプロセスを急ぐ必要は無い、時間をかけてバランスの取れたアプローチを採用した方がいいということを意味している。10年のうちに近代化のプロセスを達成できれば、ロシア政府は大変な賞賛に値するだろう。

以上